



桃五だより



No.574

(4月号)

杉並区立桃井第五小学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/momo5shou/>

2019. 4. 8

新しい時代、新しい桃五へ

校長 川田 忠

校庭の芝の緑が目映える中、新一年生98名が桃五小に入学し新年度がスタートしました。今年度も、子供たちの健やかな成長のために、教職員・スタッフ全員で桃五の教育活動を進めてまいります。これまで同様、保護者・地域の皆様のご理解ご協力をいただき、多くの大人の力を結集した桃五の教育活動をお願いいたします。

今月号がご家庭に届くときには、新元号「令和」が発表され、来月1日から新たな時代が幕明けます。平成に生まれた子供たちが、新たな時代の主人公として活躍していくことになります。そのために、小学校生活を通して様々な力を身に付け、豊かな人生を歩む下地をしっかりと作る必要があると考えています。

桃五小では、これまでの教育活動の良さを生かしつつ、子供たちの実態から今年度より新たな取り組みを始めることがいくつかあります。

主な変更点の一つめは、教育目標の重点を「かしこく」から「たくましく」に変えました。桃五の日常生活から、心身のたくましさをより身に付けたほうが良いと判断する様子があったからです。「たくましさ」の内容としては、体が丈夫であるということと、心のタフさを身に付けていくことの両面から迫らなくてはと考えています。「たくましさ」を重点目標にすることで、「かしこく」や「やさしく」の目標達成にも寄与していただろうとみています。

二つめの変更点としては、毎年のクラス替えを行うことです。クラス替えの効果として、新たな人間関係を作る機会ができ、クラス内での関わり合いによる一人一人の学習・生活面への影響や、クラスという集団作りを通しての学びにつながるこ

とが挙げられます。桃五小は、各学年100名前後の児童数なので、毎年のクラス替えによって、今年度の3年と5年の進級時のクラス替えと比べ、より多くの友達と関わり合って小学校生活を送ることになります。

3つめの変更点としては、補習時間を増やし、どの子供も参加できるようにしました。学習の確実な定着を促すために、これまでも土曜補習を実施し、事前に決められた子供たちを対象にした補習を行ってきました。しかし、学習内容の違いや子供の特性によって定着が十分でない子供たちはいつも同じではありません。そこで、土曜授業日の補習に加えて月曜日にも補習時間をとるようにし、学習定着の様子からどの子供も参加していける補習時間に変更することにしました。今年度から、補習時間ごとに参加する子供たちには事前に連絡カードを渡して実施していくことにします。

上記以外にも、新たな取り組みを進めることがあります。すべて、これからの時代を生きる子供たちにとってプラスになるであろうと判断したものです。変えないことは簡単で、変えることにはエネルギーがいります。もしかすると、変更したことによる当初の混乱があるかもしれませんが、それでも、桃五の子供たちにとって、必ず役立つと信じて進んでいきたいと考えます。

新しい時代の幕開けにふさわしい桃五がスタートします。今年度の一年間が、すべての子供たちにとって大きく成長する時間としていきたい。保護者・地域の皆様のお力添えをよろしく願いいたします。